



氷ある！

みてー！！

今朝、園庭で遊んでいた子どもたち。「先生！！！氷ある！」と喜び駆け寄ってきました。手のひらには半分解けた氷がありました。

「冷たいー！！」言いながら「ここにあったよ」と園庭の隅へ連れて行ってくれました。

遊具に登ると「ほらここにも！」と遊具の階段や滑り台についた氷にも気づき始めました。

「滑るかな…」とゆっくり、慎重に。だけど、表情はウキウキ。靴の裏から伝わってくる氷のツルツルとした感触や、自分が通った道を振り返り足跡を楽しむ姿がありました。



「凍った滑り台は早いかも！！」と滑ると「冷たいー！」「濡れたー！」と大喜び。「撮って！」と冷たかったお尻をこちらに向けてポーズを取る姿も！

冬のよく冷えた朝。長い冬休みも終わり、園庭で友達とたくさん遊ぶことはきっと子どもたちにとってとっても大切な時間だったと思います。その中で、自分で発見した「氷」その氷を手で触ってみたり、足で踏んでみたり。感触を楽しむ子どもたち。ツルツルした氷の特徴を捉え「いつもより早く滑れるかも！」と、滑り台での試行錯誤が始まりました。五感を通した経験が、子どもたちにとって非常に重要で、その中で得た気づきが今後学びへと繋がっていくように感じました。

2026/01/09